

調査報告 『天覧山・多峯主山の植物』 刊行に関する調査について

本橋 綾香

1. はじめに

飯能市に所在する天覧山・多峯主山は、市街地から近い身近な里山であり、近隣小学校の教育や住民たちの憩いの場となっている。また飯能を代表する観光地であるとともに、多様な動植物を残す貴重な場でもある。

飯能市教育委員会では、市全域に生息する植物の種類と分布を明らかにし貴重な植物を保護するため、平成21(2009)年度から平成25(2013)年度までの5ヵ年にわたって植物調査を実施した。そして、この調査結果をより広く普及・活用するため、平成30(2018)年度から令和2(2020)年度にかけて『天覧山・多峯主山の植物』(以下、「普及図書」と記す)を「春編」「夏編」「秋・冬編」の3部構成で刊行した。その際、植物の現況を確認するため、天覧山周辺のビジターセンター的機能を担う当館が調査を実施し、併せて執筆も担当した。

本稿は平成30年度から令和元年度にかけて行った当調査の結果を報告するものである。

2. 天覧山・多峯主山の概要

調査対象地である天覧山(標高197m)・多峯主山(標高271m)は、埼玉県南西部の関東山地から関東平野へ移行する途中に位置し、全域が埼玉県自然公園条例に基づく「県立奥武蔵自然公園」の普通地域に指定されている。

気候帯は暖温帯に、植生は照葉樹林帯に属する。これは自然の遷移に従えばシイ、カシ類の林に発達する植生である。『天覧山・多峯主山自然環境調査報告書』によれば、現在の植生はコナラを主とした二次林と、スギ・ヒノキの植林地に分かれている。また、4ヶ所の谷地に流れる沢周辺にはヨシ等の湿生植物が、乾燥化の進んだ場所ではススキ等の草が広がり、二次林、草地、溜め池等がつながる里地里山の環境を今も残している。



写真① 天覧山(左上)

3. 調査方法

調査方法は、「モニタリングサイト1000里地調査マニュアル植物相(Ver.3.1)」で用いられているトランセクト法とした。

調査コースは、A諏訪沢入り、B天覧入り、C本郷入り、D本郷・御嶽入り境、E御嶽入りの主な5つの登山道とした(図1)。さらに植生や景観の違いから番号をふって分けし、その区ごとに、目視により同定した種名を記録した。確認した種は全体や部位の拡大などその種の特徴がわかるように写真撮影を行った。

調査は計21回行った(表1)。各コースで見られる種の全容を把握すること、季節ごとの見どころとなる植物の状態を撮影することを目標とし、およそ2年にわたり四季それぞれの調査を重ねた。



写真② 調査の様子

表1 『天覧山・多峯主山の植物』調査一覧

No.	調査名	実施日	コース
1	4月調査	2018/4/6	B→D
2	5月調査	2018/5/16	B→B
3	6月調査	2018/6/20	B→C
4	7月調査	2018/7/18	B→D
5	8月調査①	2018/8/14	B→B
6	8月調査②	2018/8/29	A→B
7	9月調査	2018/9/6	B→C
8	10月調査	2018/10/17	B→E
9	11月調査	2018/11/22	B→C
10	2月調査	2019/2/14	B→D
11	3月調査	2019/3/19	A→B
12	4月調査	2019/4/16	B→C
13	5月調査①	2019/5/10	B→C→B
14	5月調査②	2019/5/31	A→B
15	9月調査	2019/9/4	B→B
16	10月調査	2019/10/4	B→C
17	11月調査	2019/11/8	A→B
18	12月調査	2019/12/3	C→B
19	1月調査	2020/1/23	B→A
20	2月調査	2020/2/18	C→B
21	3月調査	2020/3/17	C→A

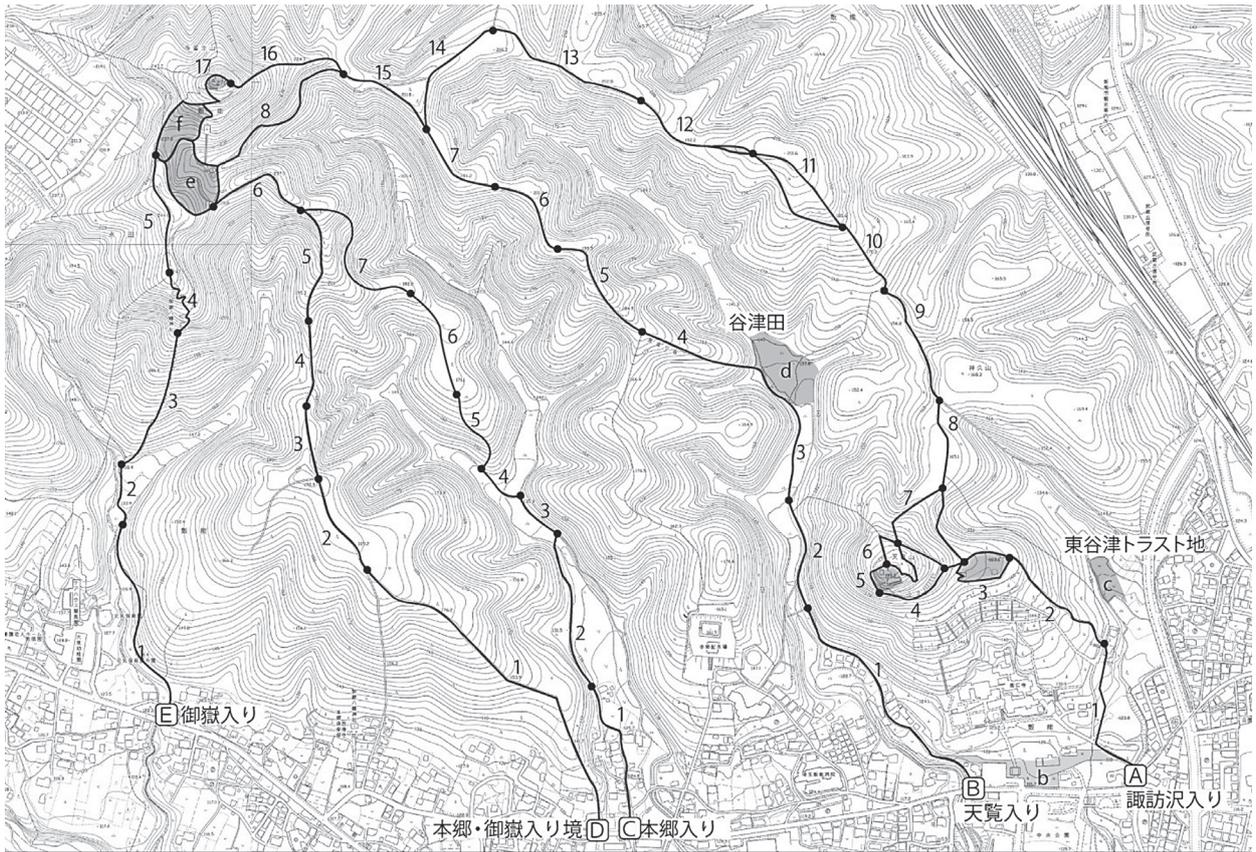


図1 対象地の調査区図

4. 調査結果

調査で確認できた植物は118科539種に上った。詳細はP.37の表2のとおりである。

なお、普及図書掲載種を除き、『埼玉県の希少野生生物 埼玉県レッドデータブック2011 植物編』に記載のある希少種については、保護の観点から同表に掲載していない。

5. おわりに

当調査により多くの植物が確認され、これにより豊かな自然を残す天覧山・多峯主山における植物の全体像を把握することができた。また、四季を通して花期や結実期の状態を撮影できたことにより、普及図書を充実させることができた。

その反面、当調査は普及図書の刊行目的の側面が強かったため、主に登山道沿いの植物種を確認することはできたが、周辺環境と植物相の関係や植生の変化など、面的に把握するには不十分な調査方法であった。また、種があるという証拠を残すためには写真だけでは不確実な面もあり、個体の位置情報や部位の特徴を記録に残しておく必要

があると感じた。

今後、同様な調査を実施する際には、以上の反省点を活かし、より有意義な調査となるよう努めたい。また、今回の調査結果をもとに当館における植物情報の発信を、さらに魅力的で充実したものとしていきたい。

最後に、普及図書の監修者であり、当調査でもご指導をいただいた山下裕氏(日本薬科大学特命講師・NPO法人埼玉県絶滅危惧植物種調査団理事)に厚く御礼を申し上げます。



写真③ 『天覧山・多峯主山の植物』

表2 調査確認種一覧

No.	種名(別称)	科名	掲載	備考	No.	種名(別称)	科名	掲載	備考	
1	トウゲシバ (ホソバトウゲシバ)	ヒカゲノカズラ科			57	フタリシズカ	センリョウ科	有		
2	スギナ	トクサ科	有		58	ドクダミ	ドクダミ科			
3	フユノハナワラビ	ハナヤスリ科			59	ウマノスズクサ	ウマノスズクサ科			
4	オオハナワラビ		有		60	カンアオイ		有		
5	ゼンマイ	ゼンマイ科	有		61	コブシ	モクレン科			
6	ウラジロ	ウラジロ科	有		62	ホオノキ		有		
7	カニクサ	カニクサ科	有		63	タブノキ	クスノキ科	有	栽培	
8	イヌシダ	コバノイシカグマ科			64	クスノキ				
9	フモトシダ				65	クロモジ		有		
10	ワラビ		有		66	ヤマコウバシ		有		
11	イワガネソウ	イノモトソウ科			67	シロダモ	有			
12	イワガネゼンマイ				68	セキショウ	ショウブ科	有		
13	オオバノイノモトソウ				69	カラスビシャク	サトイモ科			
14	イノモトソウ				70	マムシグサ		有		
15	トラノオシダ	チャセンシダ科			71	ヘラオモダカ	オモダカ科	有		
16	ヒメワラビ	ヒメシダ科			72	ヤマノイモ	ヤマノイモ科	有		
17	ミドリヒメワラビ				73	オニドコロ(トコロ)		有		
18	ゲジゲジシダ				74	ヒメドコロ				
19	ミゾシダ				75	ホウチャクソウ	イヌサフラン科	有		
20	ホシダ				76	チゴユリ		有		
21	ヤワラシダ				77	シオデ	サルトリイバラ科	有		
22	ヒメシダ				78	タチシオデ		有		
23	ハシゴシダ				79	サルトリイバラ		有		
24	ハリガネワラビ		有		80	ヤマカシュウ				
25	クサソテツ		コウヤワラビ科			81	ヤマジノホトトギス	ユリ科	有	
26	シシガシラ	シシガシラ科			82	カタクリ	有			
27	ヘビノネゴザ	メシダ科			83	ヤマユリ	有			
28	ヤマイヌワラビ				84	オニユリ		逸出		
29	イヌワラビ				85	ノヤマトンボ	ラン科	有		
30	シケシダ				86	キンラン		有		
31	オクマワラビ	オシダ科			87	ササバギンラン		有		
32	ヤマイタチシダ				88	ギンラン		有		
33	ミサキカグマ		有		89	コ克蘭		有		
34	オオベニシダ				90	エビネ		有		
35	ベニシダ		有		91	サイハイラン		有		
36	トウゴクシダ				92	シュンラン		有		
37	オオイタテシダ				93	シャガ	有			
38	ホソバナライシダ (ナライシダ)				94	キショウブ	アヤメ科	有	帰化	
39	リョウメンシダ				95	ニワゼキショウ		有	帰化	
40	ハカタシダ				96	ノカンゾウ	ススキノキ科	有		
41	イノデ			97	ヤブカンゾウ	有				
42	アイアスカイノデ	ヒガンバナ科			98	ノビル				
43	ナガバヤブソテツ				99	ヒガンバナ	有			
44	ヤブソテツ				100	ヤブラン	有			
45	ヤマヤブソテツ				101	オオバジャノヒゲ	有			
46	ミツデウラボシ		ウラボシ科			102	ジャノヒゲ (リュウノヒゲ)	有		
47	ノキシノブ					103	ナガバジャノヒゲ			
48	アカマツ(メマツ)		マツ科	有		104	ヒメヤブラン	クサスギカズラ科 (キジカクシ科)	有	
49	モミ			有		105	オオバギボウシ (トウギボウシ)		有	
50	イヌマキ	マキ科(イヌマキ科)			106	ツルボ				
51	コウヤマキ	コウヤマキ科		栽培	107	キチジョウソウ	有			
52	スギ	ヒノキ科	有	栽培	108	ナルコユリ				
53	ヒノキ		有	栽培	109	ヤブミョウガ	有			
54	サワラ		有	栽培	110	ツユクサ	ツユクサ科	有		
55	サネカズラ (ビナンカズラ)		マツブサ科			111		イボクサ	有	
56	シキミ			栽培	112	ムラサキツユクサ		栽培		
					113	コナギ	ミズアオイ科	有		
					114	イグサ(イ)		有		
					115	クサイ	イグサ科			
					116	ハナビゼキショウ		有		

No.	種名(別称)	科名	掲載	備考
117	スズメノヤリ	イグサ科		
118	ヒメクグ		有	
119	ウシクグ	カヤツリグサ科		
120	コゴメガヤツリ			
121	アブラガヤ		有	
122	ウキヤガラ			
123	シラコスゲ			
124	マスクサ			
125	アゼスゲ			
126	ゴウソ			
127	カワラスゲ			
128	ヒメカンスゲ		有	
129	ヤブスゲ	カヤツリグサ科		
130	ナキリスゲ		有	
131	アオスゲ			
132	ヒカゲスゲ			
133	エナシヒゴクサ			
134	オニスゲ			
135	カサスゲ			
136	オオタマツリスゲ			
137	コジュズスゲ			
138	ジュズスゲ			
139	チカラシバ		有	
140	チガヤ(フシゲチガヤ)		有	
141	ササクサ		有	
142	クサヨシ		有	
143	ケトダシバ(トダシバ)			
144	クマザサ			逸出
145	アズマザサ (ハンノウザサ)		有*	
146	アズマネザサ			
147	サヤヌカグサ			
148	スズメノテッポウ		有	
149	ネズミノオ			
150	ノガリヤス			
151	コヌカグサ			帰化
152	ヌカボ			
153	ススキ		有	
154	アブラススキ			
155	オオアブラススキ			
156	コブナグサ		有	
157	ササガヤ			
158	メリケンカルカヤ			帰化
159	キンエノコロ	イネ科	有	
160	コツブキンエノコロ		有	
161	エノコログサ			
162	アキノエノコログサ		有	
163	ヌカキビ			
164	コチヂミザサ			
165	シマスズメノヒエ			帰化
166	スズメノヒエ			
167	コメヒシバ			
168	メヒシバ			
169	アキメヒシバ			
170	アオカモジグサ			
171	カモジグサ			
172	オヒシバ			
173	イヌムギ			帰化
174	イチゴツナギ			
175	スズメノカタビラ			
176	アオスズメノカタビラ			帰化
177	ミゾイチゴツナギ			

No.	種名(別称)	科名	掲載	備考
178	ヨシ		有	
179	カゼクサ	イネ科		
180	トボシガラ			
181	ナガミヒナゲシ			帰化
182	ムラサキケマン		有	
183	タケニグサ (チャンバギク)	ケシ科	有	
184	クサノオウ		有	
185	アケビ	アケビ科		
186	ミツバアケビ			
187	アオツツラフジ (カミエビ)	ツツラフジ科	有	
188	ナンテン			栽培
189	ヒイラギナンテン	メギ科		栽培
190	メギ			
191	ヒメウズ		有	
192	セリバヒエンソウ		有	帰化
193	センニンソウ		有	
194	ハンショウヅル			
195	コボタンヅル (メボタンヅル)	キンポウゲ科		
196	ニリンソウ		有	
197	アキカラマツ		有	
198	ウマノアシガタ (キンポウゲ)		有	
199	ケキツネノボタン		有	
200	キツネノボタン		有	
201	ネコノメソウ		有	
202	チダケサシ	ユキノシタ科	有	
203	ユキノシタ			
204	コモチマンネングサ	ベンケイソウ科		
205	アリノトウグサ	アリノトウグサ科		
206	オオフサモ			帰化・特外
207	エビヅル			
208	ヤブカラシ	ブドウ科	有	
209	ノブドウ		有	
210	ネムノキ		有	
211	ジャケツイバラ		有	
212	フジ(ノダフジ)		有	
213	ハリエンジュ			帰化
214	フジカンゾウ		有	
215	ヌスビトハギ		有	
216	ヤブハギ			
217	マルバハギ		有	
218	ヤマハギ			
219	ヤハズソウ		有	
220	ネコハギ			
221	スズメノエンドウ	マメ科	有	
222	カラスノエンドウ (ヤハズエンドウ)		有	
223	シロツメクサ (クローバ)			帰化
224	ゲンゲ(レンゲソウ)		有	帰化
225	ヤブツルアズキ		有	
226	トキリマメ (オオバタンキリマメ)		有	
227	ノササゲ		有	
228	ヤブマメ		有	
229	クズ		有	
230	ツルグミ	グミ科		
231	クマヤナギ	クロウメモドキ科		
232	ケヤキ	ニレ科	有	
233	ムクノキ			
234	エノキ			
235	カナムグラ	アサ科	有	
236	カラハナソウ			
237	クワクサ	クワ科		

No.	種名(別称)	科名	掲載	備考
238	ヒメコウゾ	クワ科	有	
239	ヤマグワ			
240	アオミズ	イラクサ科		
241	カラムシ(クサマオ)		有	
242	コアカソ			
243	ヤブマオ			
244	メヤブマオ		有	
245	コゴメウツギ		有	
246	ウメ			栽培
247	イヌザクラ		有	
248	ウウミズザクラ		有	
249	ヤマザクラ		有	
250	ヤマブキ	有		
251	アズマイバラ	有		
252	テリハノイバラ			
253	フユイチゴ	有		
254	ニガイイチゴ	有		
255	ナガバモミジイチゴ	バラ科		
256	モミジイチゴ(キイチゴ)		有	
257	クサイチゴ		有	
258	ナワシロイチゴ		有	
259	カマツカ(ウシコロシ)		有	
260	クサボケ(シドミ)		有	
261	ヤブヘビイチゴ			
262	ヘビイチゴ		有	
263	オヘビイチゴ		有	
264	ミツバツチグリ		有	
265	ダイコンソウ	有		
266	ワレモコウ	有		
267	キンミズヒキ	有		
268	ヒメキンミズヒキ	有		
269	クリ	ブナ科	有	
270	クヌギ		有	
271	コナラ		有	
272	アラカシ		有	
273	シラカシ		有	
274	スダジイ	有		
275	クマシデ	カバノキ科		
276	イヌシデ		有	
277	アカシデ		有	
278	ケヤマハンノキ	ウリ科	有	
279	カラスウリ		有	
280	スズメウリ		有	
281	アマチャヅル	ニシキギ科	有	
282	コマユミ			
283	マユミ			
284	ツリバナ	カタバミ科		
285	ツルウメモドキ			
286	カタバミ		有	
287	オッタチカタバミ			帰化
288	ムラサキカタバミ			帰化
289	イモカタバミ	有	帰化	
290	アカメガシワ	トウダイグサ科	有	
291	オオニシキソウ			帰化
292	コニシキソウ			帰化
293	タカトウダイ			
294	コミカンソウ	コミカンソウ科		
295	マルバヤナギ	ヤナギ科		
296	アリアケスミレ	スミレ科	有	
297	スミレ		有	
298	ヒメスミレ			
299	ノジスミレ			
300	コスミレ			
301	マルバスミレ (ケマルバスミレ)			

No.	種名(別称)	科名	掲載	備考
302	マキノスミレ	スミレ科	有	
303	フモトスミレ			
304	アメリカスミレサイシン			帰化
305	ナガバノスミレサイシン		有	
306	アオイスミレ		有	
307	タチツボスミレ		有	
308	ニオイタチツボスミレ		有	
309	ツボスミレ (ニョイスミレ)		有	
310	コケオトギリ		オトギリソウ科	有
311	オトギリソウ		有	
312	ゲンノショウコ	フウロソウ科	有	
313	ミズタマソウ	アカバナ科	有	
314	ユウゲショウ			帰化
315	チョウジタデ		有	
316	ゴンズイ	ミツバウツギ科	有	
317	キブシ	キブシ科	有	
318	ヌルデ	ウルシ科	有	
319	ヤマウルシ		有	
320	オオモミジ	ムクロジ科		
321	イロハカエデ		有	
322	ウリカエデ		有	
323	イタヤカエデ			
324	エンコウカエデ			
325	トチノキ	ミカン科		
326	マツカゼソウ		有	
327	カラスザンショウ			
328	イヌザンショウ			
329	サンショウ			
330	ユズ			栽培
331	センダン	センダン科		栽培
332	カラスノゴマ	アオイ科		
333	ナズナ	アブラナ科		
334	マメゲンバイナズナ			帰化
335	イヌガラシ		有	
336	マルバコンロンソウ			
337	オオバタネツケバナ (ヤマタネツケバナ)			
338	ミチタネツケバナ		有	帰化
339	タネツケバナ	有		
340	スイバ(スカンポ)	タデ科	有	
341	エゾノギシギシ			帰化
342	ミズヒキ		有	
343	ママコノシリヌグイ (トゲソバ)		有	
344	ミゾソバ		有	
345	アキノウナギツカミ		有	
346	ヤノネグサ		有	
347	オオイヌタデ			
348	サクラタデ		有	
349	ボントクタデ		有	
350	ハナタデ(ヤブタデ)	有		
351	イヌタデ(アカノマンマ)	有		
352	イタドリ	有		
353	ツメクサ	有		
354	ウシハコベ	有		
355	オランダミミナグサ	有	帰化	
356	ミミナグサ	ナデシコ科	有	
357	コハコベ		有	
358	ミドリハコベ		有	
359	ノミノフスマ		有	
360	イノコヅチ (ヒカゲイノコヅチ)	ヒユ科	有	
361	ヨウシュヤマゴボウ	ヤマゴボウ科	有	帰化

No.	種名(別称)	科名	掲載	備考
362	ザクロソウ	ザクロソウ科		
363	スベリヒユ	スベリヒユ科		
364	ミズキ	ミズキ科	有	
365	マルバウツギ	アジサイ科	有	
366	ウツギ		有	
367	コアジサイ		有	
368	ガクウツギ		有	
369	ツリフネソウ	ツリフネソウ科	有	
370	ヒサカキ	サカキ科	有	
371	サカキ		有	栽培
372	ヤブコウジ	サクラソウ科	有	
373	マンリョウ		有	逸出
374	コナスビ		有	
375	ヌトトラノオ		有	
376	オカトラノオ		有	
377	チャノキ	ツバキ科	有	逸出
378	ヤブツバキ		有	
379	サワフタギ	ハイノキ科	有	
380	エゴノキ	エゴノキ科	有	
381	オニマタタビ	マタタビ科		逸出
382	リョウブ	リョウブ科	有	
383	イチヤクソウ	ツツジ科	有	
384	ギンリョウソウ		有	
385	ナツハゼ			
386	ネジキ		有	
387	アセビ		有	
388	パイカツツジ		有	
389	ヤマツツジ		有	
390	ミツバツツジ		有	
391	アオキ	アオキ科	有	
392	アカネ	アカネ科	有	
393	ヤエムグラ		有	
394	ヨツバムグラ			
395	ハシカグサ		有	
396	ヘクソカズラ		有	
397	ツルリンドウ	リンドウ科	有	
398	センブリ		有	
399	テイカカズラ	キョウチクトウ科	有	
400	ガガイモ			
401	コバノカモメヅル		有	
402	ヒルガオ	ヒルガオ科	有	
403	クコ			帰化
404	ワルナスビ	ナス科		
405	ヒヨドリジョウゴ		有	
406	マルバノホロシ		有	
407	アメリカイヌホオズキ			帰化
408	ヤマルリソウ	ムラサキ科	有	
409	ハナイバナ			
410	キュウリグサ		有	
411	マルバアオダモ	モクセイ科		
412	ネズミモチ			
413	トウネズミモチ			栽培
414	イボタノキ		有	
415	タチイヌノフグリ	オオバコ科	有	帰化
416	オオイヌノフグリ		有	帰化
417	オオバコ		有	
418	ツボミオオバコ		有	帰化
419	ヤブムラサキ	シソ科	有	
420	ムラサキシキブ		有	
421	クサギ		有	
422	キランソウ		有	
423	ジュウニヒトエ		有	
424	オカタツナミソウ		有	

No.	種名(別称)	科名	掲載	備考
425	コバナタツナミ	シソ科		
426	ヤマハッカ		有	
427	アキノタムラソウ		有	
428	イヌコウジュ			
429	ヒメジソ			
430	シラゲヒメジソ		有	
431	トウバナ		有	
432	イヌトウバナ		有	
433	カキドオシ		有	
434	ホトケノザ		有	
435	ヒメオドリコソウ	有	帰化	
436	トキワハゼ	サギゴケ科	有	
437	ムラサキサギゴケ		有	
438	ナガバハエドクソウ	ハエドクソウ科		
439	ハエドクソウ		有	
440	ナンバンギセル	ハマウツボ科	有	
441	オオヒキヨモギ		有	
442	ハグロソウ	キツネノマゴ科	有	
443	キツネノマゴ		有	
444	ハナイカダ	ハナイカダ科	有	
445	ウメモドキ	モチノキ科		
446	アオハダ			
447	イヌツゲ		有	
448	モチノキ		有	栽培
449	ツルニンジン	キキョウ科		
450	ツリガネニンジン		有	
451	ホタルブクロ		有	
452	オオオナモミ			帰化
453	ブタクサ			帰化
454	ヨモギ			
455	コメナモミ			
456	コセンダングサ		有	帰化
457	アメリカセンダングサ		有	帰化
458	ハキダメギク			帰化
459	ククイモ			逸出
460	フキ			
461	ノブキ			
462	オオキンケイギク		有※	逸出・特外
463	ノボロギク			帰化
464	ヤブレガサ	キク科	有	
465	ベニバナボロギク		有	帰化
466	オオアレチノギク			帰化
467	セイタカアワダチソウ			帰化
468	アキノキリンソウ		有	
469	ヒメジョオン		有	帰化
470	シラヤマギク		有	
471	ヒロハホウキギク			帰化
472	ノコンギク			
473	シロヨメナ			
474	ハルジオン	有	帰化	
475	ヒメムカシヨモギ		帰化	
476	ユウガギク	有		
477	カントウヨメナ			
478	シュウブンソウ	有		
479	ヤブタバコ			
480	サジガnekビソウ	有		
481	ガンクビソウ	有		
482	ハハコグサ	有		
483	チチコグサ			
484	ウラジロチチコグサ			帰化
485	チチコグサモドキ			帰化
486	カシワバハグマ			
487	コウヤボウキ	有		
488	ナガバノコウヤボウキ	有		

No.	種名(別称)	科名	掲載	備考
489	キッコウハグマ	キク科	有	
490	ヒヨドリバナ		有	
491	オケラ		有	
492	キツネアザミ		有	
493	アメリカオニアザミ			帰化
494	ノアザミ		有	
495	ノハラアザミ		有	
496	トネアザミ			
497	コオニタビラコ			
498	ヤブタビラコ			
499	セイヨウタンポポ		有	帰化
500	シロバナタンポポ		有	
501	カントウタンポポ		有	
502	ブタナ		有	帰化
503	ムラサキニガナ			
504	アキノノゲシ		有	
505	ヂシバリ			
506	オオヂシバリ		有	
507	ニガナ		有	
508	ノゲシ(ハルノノゲシ)		有	
509	オノノゲシ		有	帰化
510	ヤクシソウ		有	
511	オニタビラコ		有	
512	アオオニタビラコ			
513	アカオニタビラコ			
514	テドメグサ		ウコギ科	

No.	種名(別称)	科名	掲載	備考
515	オオチドメ	ウコギ科		
516	タラノキ			
517	キツタ			
518	ヤツデ		有	逸出
519	ハリギリ		有	
520	ウマノミツバ	セリ科	有	
521	オヤブジラミ		有	
522	セントウソウ			
523	セリ		有	
524	ミツバ		有	
525	ヤブニンジン			
526	ノダケ		有	
527	ヤマゼリ			
528	ニワトコ	ガマズミ科	有	
529	ヤブデマリ			
530	オトコヨウゾメ		有	
531	コバノガマズミ		有	
532	ミヤマガマズミ			
533	ガマズミ		有	
534	スイカズラ	スイカズラ科	有	
535	ヤマウグイスカグラ		有	
536	ミヤマウグイスカグラ		有	
537	ウグイスカグラ		有	
538	ツクバネウツギ		有	
539	オトコエシ		有	

- ・ 種名及び科名、配列、備考は『改定新版 フィールドで使える 図説 植物検索ハンドブック【埼玉2998種類】』に準じた。ただしNo.70、145、511の名称は『1998年版 埼玉県植物誌』の記載名に準じた。また、No.53の備考は『飯能県民休養地自然環境調査報告書』に準じた。なお、No.70、323、511の種名は総称である。
- ・ 備考欄の「帰化」は帰化植物(外来植物)、「特外」は特定外来生物、「栽培」は植栽・園芸品等、「逸出」は逸出植物(国内に分布する栽培植物の野生化)を示す。なお、特定外来生物に関しては環境省のWebサイト「特定外来生物等一覧」に準じた。
- ・ 「掲載」欄は普及図書への掲載の有無を示した。なお、コラムとして掲載したものには※を付した。

《参考文献など》

●自治体刊行物・書籍

- ・ 埼玉県環境生活部自然保護課『飯能県民休養地自然環境調査報告書』平成10(1998)年
- ・ 埼玉県環境部自然環境課『埼玉県の希少野生生物 埼玉県レッドデータブック2011 植物編』平成24(2012)年
- ・ 埼玉県教育委員会『1998年版埼玉県植物誌』平成10(1998)年
- ・ 天覧山・多峯主山の自然を守る会『天覧山・多峯主山自然環境調査報告書』平成13(2001)年
- ・ NPO法人埼玉県絶滅危惧植物種調査団『改定新版 フィールドで使える図説 植物検索ハンドブック【埼玉2998種類】』令和2(2020)年 さきたま出版会

●ホームページ

- ・ 日本自然保護協会ホームページ「植物相調査マニュアル(Ver.3.1)」
(https://www.nacsj.or.jp/official/wp-content/uploads/2017/06/plant_manual_3_1.pdf)
- ・ 環境省ホームページ「特定外来生物等一覧」(<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/list.html>)

※ホームページのアドレスは令和3(2021)年2月時点



写真④ ヤマトツツジ